

2026 年度 講座・出前授業報告書 No. 1

開催日時	2026 年 6 月 8 日（月）、9 日（火） 開始時間 16:30 終了時間 18:00								
開催場所	薬師池公園西園 ラボ								
実施内容	アルケミスト（海の恵み、サケの一生）								
人 数	幼児	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	計
① は 8 日		① 1		① 1					
② は 9 日		② 1	③ 1	② 3		③ 1	① 3		1 1
スタッフ	4 名	実施機関スタッフ			① 1 ② 1 名				

1 概要

アトリエ・アルケミスト (町田市) と本会が連携して実施する STEAM の一環として。今回講義を担当した海洋学研究者であるの本会メンバーによる「海の恵み」=S の講義とアルケミニストの「サケの適応機能である浸透圧をテーマにした製作活動」=A をコラボレーションした 2 週にわたる講座である。その前段として「海の恵み」と題した紙芝居の上演と、サケの孵化から海洋への回遊、川への回帰までの一生を写真や画像で展開したスライドの投影説明・質疑を行った

2 実施内容

アルケミニストの事情により今年度は新規の会場 (スタジオ) に移ったことなどもあり、参加者は例年と比べて少数であった。参加者は紙芝居では演者の的確な問いかけに答えて海とおにぎりの深いかかわりについて、日常生活と結びつけて関心を深めた。おにぎりのノリ、サケ、おかか、塩のみならず米や育てるための水など水の大循環にも思いを寄せていた。

サケの回遊については低温で生活するために川 (今回は岩手県の大槌川、大槌湾) の表層と深層を上限移動していることなどについてはデータロガーの数値をグラフにして提示するなど視覚的にわかりやすい構成にした

後半の質問・感想を寄せる場面では、サケの寿命はいくらか、サケの天敵はいるのか、なぜサケは川と海の両方に住まなければならないのかななどの質問が寄せられ担当者が丁寧に答えていた、

3 良かった点、課題点など

参加人数が少ないばかりでなくアルケミニストに参加をして間もない低学年の児童が多かったこともありサケの回遊については淡水ー海水の移動に必要な体内の浸透圧の調整などについては難しすぎたと思われる。後段の「浸透圧の製作活動」などの結びつけるためには本会から STEAM の S=科学 の側面から支援が必要かと思われる。

